

## 特集

# CEATEC JAPAN 2012

CEATEC  
JAPAN

## 出展にあたって

平素は当社製品をご愛顧いただきまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。

当社は、10月2日(火)から幕張メッセで開催されるCEATEC JAPAN 2012に出展します。

CEATEC JAPANは、IT・エレクトロニクス分野の最新・最先端の製品・技術が一堂に集められて世界に向けて情報発信される注目の展示会です。

今年の開催テーマは Smart Innovation —豊かな暮らしと社会の創造— です。

個人や生活、モビリティ、ビジネス、産業、社会システム全般がネットワーク技術を活用してつながり、エネルギー効率の高いスマートな社会の構築へ、今、世界中が動き出しています。

デジタルネットワークからスマートイノベーションへ。IT・エレクトロニクスの技術革新が、我々の暮らしや社会全体を快適に、スマート化することを実現していきます。

当社からは、

- ①エネルギーの分野で活用が期待される超電導線材
- ②スマートハウスに対応した配線・機器部品
- ③医療分野に用いられる部品
- ④デジタル・モバイル機器向け電子部品
- ⑤クラウドコミュニケーションの分野で使用される機器・配線などを出展します。

当社ブースにお越しいただき、この機会にぜひ、当社新製品をご覧くださいませようお願い申し上げます。



## 〈CEATEC JAPAN 2012〉

**日時** 2012年10月2日(火)～10月6日(土) 10:00～17:00

**場所** 幕張メッセ ホール7(フジクラブース 7F12)

### Energy Solution

エネルギーソリューション

## ■ イットリウム系超電導線材

当社ではイットリウム系高温超電導線材の開発、製造販売を行っています。独自に開発した製造技術によりその性能は世界トップレベルを誇り、最近では更なる技術改善により、高性能化に加え、長尺化、高品質化を実現しています。次世代の低炭素、高効率エネルギー社会の実現に向け、超電導ケーブルやモータを始め、様々な機器応用の検証が始まる中、信頼性に優れた超電導線材の提供により、各種高温超電導機器の実用化を大きく前進させるものと確信しています。

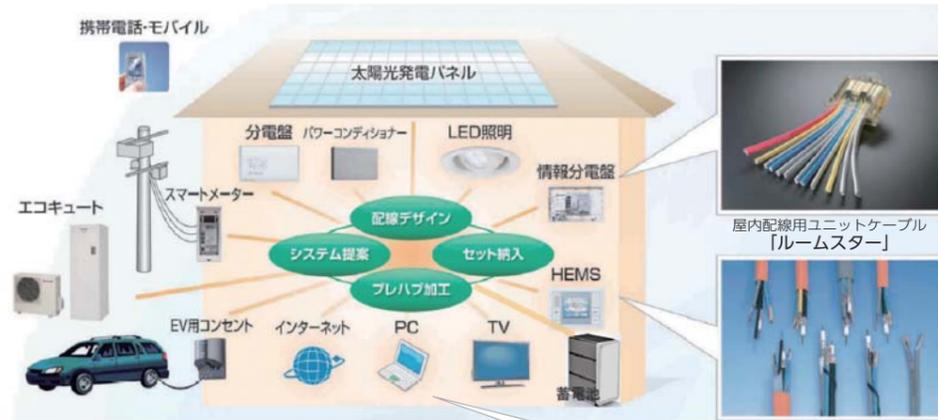


超電導事業推進室 E-mail: ask-sc@fujikura.co.jp

## Smart House Solution

スマートハウスソリューション

### ■ 宅内配線ソリューション



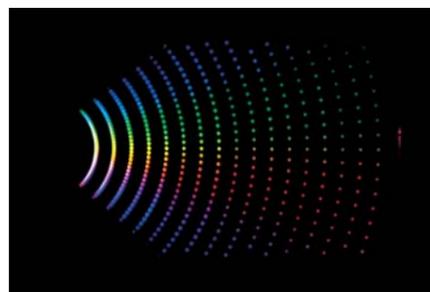
スマートハウス(省エネ・創エネ・蓄エネ)に対応した各種配線器具・機材の需要が増加する中、当社グループでは個々の住宅仕様に応じた配線設計を提案し、配線器具・機材の選定・積算・納期管理までのトータルサポートを提供します。展示会では、「ルームスター」、「情報複合ケーブル」と宅内でのスマートな光配線を実現させる「マグつよ<sup>®</sup>」などの光ファイバ関連製品、次世代住宅に対して当社グループが提供するソリューションを紹介します。

西日本電線(株) 配線システム事業部 E-mail:rc-sales@nnd.co.jp  
光ファイバ・ケーブルシステム事業部 E-mail:telecon@fujikura.co.jp

### ■ イルミアレイ

イルミアレイは、以前より自動車用イルミネーションや住宅向け階段照明として使用されていますが、携帯電話のイルミネーションとしても採用いただいています。また、パチンコ・パチスロ向けイルミネーションの採用検討も進んでいます。今回は、イルミアレイを搭載した携帯電話と最近開発した白色LED 1個で七色に発光するレインボーパネルを展示します。

光応用製品事業推進室 E-mail:illumi-info@fujikura.co.jp

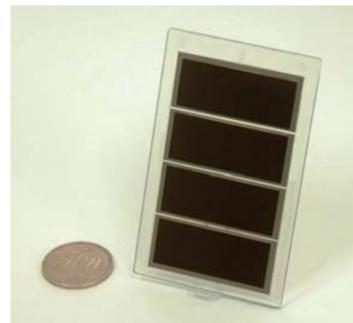


レインボーイルミパネル

### ■ 色素増感太陽電池

色素増感太陽電池(DSC:Dye Sensitized Solar Cell)は、従来の太陽電池では性能が発揮できなかった屋内照明下、窓際、日陰といった暗い場所でも、高い発電特性を発揮する太陽電池であり、エネルギーハーベスティング(環境発電)の分野で最適な太陽電池として注目されています。今回、 $\mu W$ ~数W級の低照度DSCモジュールと、その応用製品である昇圧機能・蓄電機能を組み込んだ3V定電圧出力の電源モジュール、ならびにスマートハウス向けの各種ワイヤレスセンサーノードを展示します。

太陽光発電研究室 E-mail:askmtl@fujikura.co.jp



屋内低照度用DSCモジュール

## Medical Care Solution

医療向け部品ソリューション

### ■ ヒューマンアシストモジュール用メンブレンスイッチ

当社のメンブレンスイッチ製品群において、ヒューマンアシストモジュールの分野で用いられている製品を紹介し、写真は、ホルター心電計に使用される使い捨てタイプの電極で、日常生活における心拍の変動を一日単位で観察するものです。日常生活動作での電極の剥がれを低減するために、メンブレンスイッチの特性が生かされた柔軟な構造が採用されています。展示品としては、認知症患者の徘徊を監視するようなマットスイッチの動態模型を展示予定です。

機能モジュール技術部 E-mail:askmbsw@fujikura.co.jp



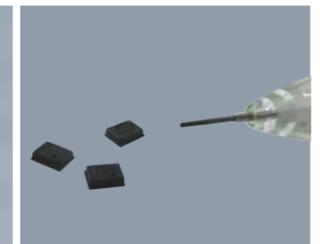
### ■ 圧力センサ・酸素センサ

当社の圧力センサと酸素センサは、多くの医療機器に使用され、生活の質(QOL:Quality Of Life)向上に貢献しています。今回、開発品として超小型気圧センサを紹介し、最先端のMEMSプロセスと加工技術で極限まで小型化されたセンサからは、高精度に調整されたデジタル信号が出力されます。

電子デバイス研究所 E-mail:device@rd.fujikura.co.jp



圧力センサ製品群



超小型気圧センサ

## Digital Mobile Solution

デジタルモバイル向け部品ソリューション

### ■ 高性能タッチセンサ、タッチパネルモジュール

当社は携帯電話キー用メタルドームスイッチ、キーボード用メンブレンスイッチなどのヒューマンマシンインターフェイス(HMI)製品、FPCやメンブレンなどの薄型配線製品を製造しています。これらの製品分野で培われた技術を活用して、ホバー、タッチ、クリックの3つのスイッチ機能を有するタッチセンサや筆書きのような感覚で、「はらい」、「はね」などの表現を実現する筆圧検知付透明タッチパネルモジュールなど、あたらしい機能を有する静電容量式HMI商品の開発を行っています。

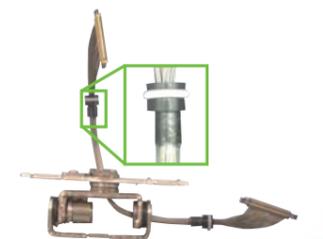
機能モジュール技術部 E-mail:askmbsw@fujikura.co.jp



### ■ 極細同軸ケーブルアセンブリ

電子機器の内部配線材として省スペースで高速伝送特性に優れた極細同軸アセンブリをお客様に提供しています。極細同軸アセンブリは、携帯機器等の開閉・回転部の配線材に求められる高屈曲性も有しています。また、開閉・回転部に防水機能を付与した極細同軸アセンブリは、浸水しても筐体内部に水が侵入しません。

電子材料事業部 E-mail:askecd@fujikura.co.jp



### ■ 透明FPC

これまでのFPCは機器内配線等、人目に触れない部分に用いられるケースがほとんどでした。ところが近年、電子機器のデザイン性向上を目的に、白や黒などに着色されたFPCの需要が出てきています。当社では、白、黒以外に「透明」という新たな機能を持つFPCを手がけています。従来のFPCが持つ「金めっき等の表面処理」「部品実装」「折り曲げ」が可能という特長は引き続きです。

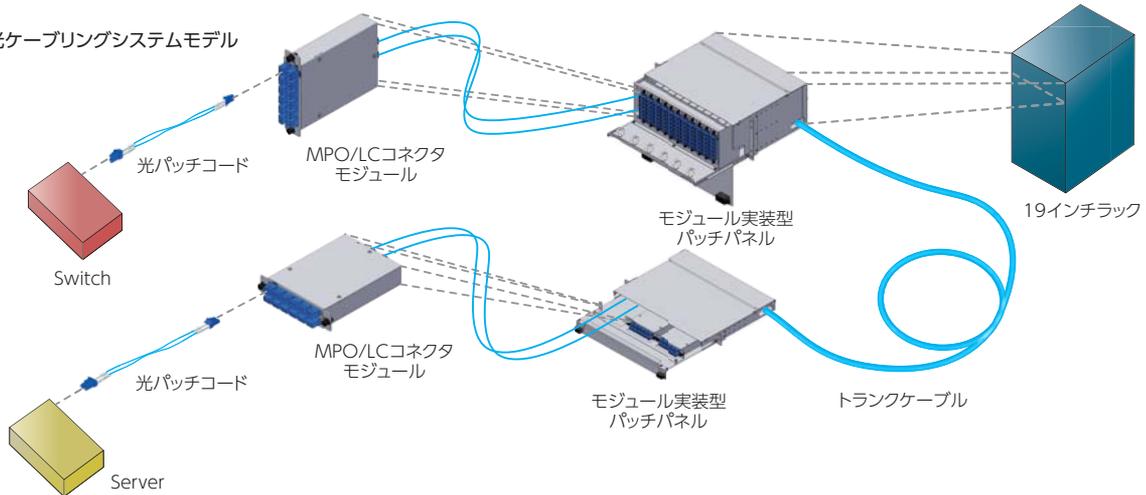
電子部品開発センター E-mail:askfpc@fujikura.co.jp



## ■ データセンタ用光ケーブルリングシステム

近年、クラウドサービスの拡大、FTTHおよび携帯コンテンツの充実化に伴い、データセンタのニーズが急速に高まっています。当社では、最先端の技術を応用し、ANSI/TIA-568-C.3に準拠した、データセンタに最適な光ケーブルリングシステムをご紹介致します。当社の配線システムは、多心光コネクタ (MPOコネクタ) を適用することで高密度、省スペース且つ拡張性の高い光配線を実現します。

### ■ 光ケーブルリングシステムモデル



光ファイバ・ケーブルシステム事業部 E-mail:telcon@fujikura.co.jp

## ■ 14G×4レーン QSFPアクティブ光ケーブル

14Gb/sx4レーン FDR QSFPアクティブ光ケーブルは、データセンタでの機器間の接続用に開発された製品です。1本 (1レーン) で14Gb/sの伝送が可能なマルチモード光ファイバを4本 (4レーン) 並列に並べることで、アクティブ光ケーブル1本で56Gb/sのデータを100m迄伝送することが可能です。QSFP+MSAに準拠したハウジング内部に電気-光変換部を収納しており、光コネクタを介さずに両端のQSFPコネクタ間を光ファイバで結んでいます。このため、従来のメタルケーブルと同様の取扱い容易性を維持したまま、長距離の機器間伝送を行うことができます。また、活線挿抜に対応しており、機器の電源を落とさずにケーブルの挿抜が可能ですので、メンテナンスを容易かつ効率的に行うことができます。

クラウドコミュニケーションズ事業推進室 E-mail:aoc-info@fujikura.co.jp



株式会社フジクラ 〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1 TEL:03-5606-1112 FAX:03-5606-1501

●発行:2012年9月 No.374 ●編集兼発行責任者:和田 朗

URL <http://www.fujikura.co.jp>

関西支店 TEL.06-6364-0373 中部支店 TEL.052-212-1880 九州支店 TEL.092-291-6126

中国支店 TEL.082-211-3600 東北支店 TEL.022-266-3344 北海道支店 TEL.011-231-8551

北陸支店 TEL.0766-28-6551 四国支店 TEL.087-825-2740 沼津営業所 TEL.055-923-1111



本印刷で使用する  
電力のうち1,000kWhは、  
バイオマス発電でまかないます。

